

## 2 個別事業評価調書

団体名: 与謝野町

事業名		障害者福祉施設整備事業				
事業の概要	<p>障害福祉サービスが実施されている建物(町所有物)を解体し、新たに施設整備を行うことにより、サービス利用者の利便性・安全性の向上を図る。福祉基盤を強化することにより、障害者の自立支援、社会参加の促進を図るものである。</p> <p>&lt;厚生会館解体&gt; 解体工事・・・木造平屋建 183.1㎡、10.9㎡、50.6㎡、28.0㎡</p> <p>&lt;与謝郡聴覚言語障害センター、宮津与謝聴覚言語障害者地域活動支援センター建設&gt; (地域福祉空間整備事業) 新築 木造1階建、敷地面積 537.65㎡、建築面積 216.24㎡(延べ面積 199.84㎡) 事業実施主体 (福)京都聴覚言語障害者福祉協会</p>					
	事業期間	平成20年度				
	総事業費	18,817	本年度事業費	18,817	交付金交付額	9,408
事業評価	事業の必要性	平成18年度の障害者自立支援法の施行に伴い、障害者を取り巻く環境が大きく変化する中、町内における障害者福祉施設の基盤はまだ十分とはいえない状況であり、障害者の安定的な場づくりが急務となっている。				
	事業の有効性	本事業により、施設の安全性が確保され、サービス利用者の安心・安全な施設利用に資する。				
	事業の効率性	今後増えることが予測される重複障害者や高齢障害者へも対応したバリアフリー化などによる利便性の向上が図られ、障害者の自立支援・社会参加の促進に資するものである。				
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果				
		2 住民の自治意識を高める成果 地域福祉の基盤づくりを推進することにより、地域で高齢者や障害者を支える仕組みづくりが図られる。また、高齢者・障害者の社会参画が促進され、生きがいを持った生活ができるようになるとともに、健康づくりやまちの活性化につながるものである。				
		3 リーディング・モデル成果 与謝野町地域福祉空間整備により、町のどこに住んでいても安心して福祉サービスを受けられるまちの実現に寄与するものである。				
4 広域的波及成果 障害者の民間団体の活動は、行政サービスでは賅えない部分を担っており、その活動は障害者福祉に大きく貢献するものである。						
5 行財政改革に資する成果 与謝野町介護保険事業計画、与謝野町障害福祉計画及び与謝野町福祉空間整備「安心どこでもプラン」を効率的かつ着実に推進し、福祉空間整備対象施設の整備を行うことで、町全域の地域福祉基盤の強化を実現するものである。						
6 その他の成果						

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。